

都道府県名	群馬県	授与年度	平成 15 年度
学校種	高等学校	担当する教科等	商業
教授内容	「簿記」、「ビジネス情報」、「プログラミング」、「課題研究」		
教諭の前職等	電気メーカーの事務職(予算・売価管理等)	年齢	50 歳
内 容	対象学年 1年、2年、3年		
	授業時間数（週コマ数） 14時間		
	<b>1. 授与・採用経緯等</b>		
	平成16年度採用群馬県公立学校教員採用選考試験における社会人特別選考試験によって採用内定し、群馬県教育委員会が実施した教育職員検定に合格したため、特別免許状が授与され、平成16年4月から商業科の正規教員として採用された。		
	<b>2. 具体的教授内容・活動実績</b>		
各科目とも、それぞれの「年間指導計画表」に沿った授業で教科書・問題集・自作のプリント等を活用しながら授業を展開している。			
商業科目は、実社会と深く関係する内容であるため、前職での実務経験を授業内容に生かし、その内容に関係した実話を絡めた授業を行っている。			
<b>3. 効果・課題</b>			
放課後や休み時間を活用し、生徒とのコミュニケーションを意欲的に図ろうとしており、特に3年生の進路選択のアドバイスに効果を発揮している。また、企業での実務経験にもとづく話は、生徒の興味・関心を喚起し、生徒のやる気を引き出している。			
課題としては、生徒指導面（生徒理解・生活指導等）において、初めての経験でもあり、多少の戸惑いが見られる。自分で抱え込まず相談できる職員を広げ、そのアドバイス等を受けながら対応していくことが望まれる。			
<b>4. その他</b>			
今年度は、学校行事と教育活動を一通り経験したので、来年度には実務経験をさらに教育活動に生かしていけるものと考えられる。			

都道府県名	奈良県	授与年度	平成10年度
学校種	高等学校	担当する教科等	商業
教授内容	情報処理、ビジネス基礎、総合実践、課題研究		
教諭の前職等	織物製造会社勤務	年齢	45歳
内 容	<p>対象学年 第3学年 授業時間数(週コマ数) 16時間/週</p>		
	<p><b>1. 授与・採用経緯等</b></p> <p>奈良県教育委員会では、実践的・専門的な教育内容の充実を図るとともに、学校現場の活性化を進めることを目的として、現に職を有する社会人を対象に、教員免許の有無に関わらず、実務経験を通して得た幅広い知識や技能を教育現場に生かすことのできる人材を求める社会人特別選考を平成10年度教員採用候補者選考試験から実施している。</p> <p>出願時に自己推薦書の提出を求め、志望動機や資格を確認するとともに、試験では、個人面接・集団面接及び作文問題を課している。特に面接試験においては、長時間の面接を実施し、専門性や人間性・意欲等を重視した選考を行っている。</p> <p>当該教員は、平成11年度奈良県公立学校教員採用候補者選考試験における社会人特別選考に合格し、商業科教諭として、平成11年4月に採用された。</p> <p>民間企業において、生産管理を中心とした情報処理業務一切を担当していたことから、情報処理に関する豊かな知識と高い技術が生かされることを期待して、商業高校に配属した。</p>		
	<p><b>2. 具体的教授内容・活動実績</b></p> <p>主に情報や文書処理について、パソコンを利用した実践的な指導を生徒に行っている。具体的な指導教授内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業会計の役割や制度</li> <li>・表計算ソフトを利用したビジネス情報の統計処理</li> <li>・広報活動における文書の作成と意義</li> </ul> <p>その他、社会人時代の経験を生かし、企業における情報を管理、分析、活用する知識と技術の習得をめざした実践的な授業が行われている。</p>		
	<p><b>3. 効果・課題</b></p> <p>情報処理についての実践的な指導が行え、会社における情報の収集やその処理について、具体的な事例による授業が行われ、生徒がその必要性を実感するようになった。さらに、表計算ソフトウェアを利用した表やグラフの作成、シミュレーションの実施、データベースソフトを利用した生産管理、目的に応じた情報の集計や報告書の作成など、より高度な技術の習得に、生徒自らが取り組む姿勢を見せている。課題研究においても、積極的にコンピュータを活用し、インターネットを利用して、国際的な調査研究を行っている。また、本校の情報教育の中心人物として、教職員の研修においても、その能力を生かして重要な役割を果たしている。</p>		
<p><b>4. その他</b></p> <p>特別免許状授与を前提とした社会人特別選考については、今後も継続していく予定だが、これまでも採用者数との関係で実施できなかった年度があり、実施については、毎年検討を要する。また、実施教科についても、その都度検討しており、これまで実施した教科は、商業・看護・工業である。</p> <p>社会人特別選考による採用者は、その専門性や体験を生かして積極的に教育活動に取り組んでおり、校内外から高い評価を得ている。</p>			

都道府県名	島根県	授与年度	平成 5 年度
学校種	高等学校	担当する教科等	商業
教授内容	簿記、会計、情報処理		
教諭の前職等	為替管理、貯蓄、融資営業全般	年齢	47 歳
内 容	<p>対象学年 1～3年 授業時間数（週コマ数）13</p> <p>1. 授与・採用経緯等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成6年度から、商業に関する授業を専門的に扱う教諭として商業高校に採用された。</li> <li>本県の教員採用においては、商業、工業、農業および水産等の専門教科の人材が得難いことから、これらの教科に限り平成元年度から特別免許状の授与を前提とした教員採用選考を実施している。この選考の実施にあたっては、通常の公募と同様である。</li> </ul> <p>2. 具体的教授内容・活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>週13コマの授業を担当し、情報処理、総合実践、国際ビジネス、税務会計等を主として指導を行っている。</li> <li>また、約10年間の金融機関での勤務経験を活かし、進路指導主事として生徒の職業観の育成や職場開拓に積極的に取り組んでいる。</li> </ul> <p>3. 効果・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な教科の教員を確保することができた。</li> <li>簿記、経理などについて企業の現場経験をふまえた指導が可能となった。</li> </ul> <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後、採用予定数の減少が見込まれる中で、専門教科について毎年度採用の募集ができるわけではない。しかし、商業教育に民間企業の実情を踏まえた指導を取り入れる必要からも、可能な限り一般採用枠の中での採用を継続したい。</li> <li>平成10年度に高等学校教諭1種免許状（商業）を取得した。</li> </ul>		